



所在地：前沢区生母字田谷 49-2
児童数：45 人

北上川沿いに位置しながら山地が多い赤生津地区は、江戸時代中期には桑の栽培と養蚕が行われ、明治時代には製糸工場で盛んに生糸が生産されました。江戸時代末期には赤生津の金毘羅神社、月山神社に算額を奉納している和算家の鈴木訓一などを輩出し、儒学者の郡山道遠が寺子屋を開いて明治以降の教育につながっています。

赤生津小学校は、明治6年に開校。明治42年、母体尋常小学校と統合して生母尋常小学校となりますが、昭和36年にそれぞれ別の小学校となりました。

赤生津小学校では、「生きる力」を大切にし、森林での学習などに取り組んできました。

赤生津小学校

前沢区小学校統合記念企画展

学び舎の思い出

牛の博物館では、企画展「学び舎の思い出」を開催し、前沢区内の小学校の歴史と地域の歩みを振り返っています。

今回、ご紹介しきれなかった各小学校の歴史や、懐かしい品々を展示していますので、ぜひ足をお運びください。

■期間 4月6日(日)まで（**国**は休館）
※通常の入館料でご覧いただけます

■場所・問い合わせ 牛の博物館（☎ 7666）



開校を待つばかりの統合前沢小学校



私は、2年生のときに赤生津小学校に転校してきました。前の学校と違って、人数が少なく戸惑いはありましたが、すぐに打ち解けることができました。

赤生津小学校は、学年に関係なくみんなで楽しく遊びます。行事でも協力して一生懸命取り組む素晴らしい学校です。統合して人数が多くなっても、笑顔であいさつすることを忘れないでほしいですね。



赤生津小学校 6年
三浦凜子 さん(12)

7つの思いを一つに――

それぞれの小学校は、ことし3月をもって閉校します。地域に愛され、そして地域の子どもたちを育んできた小学校の面影は、これからも皆さんの胸の中で息づいていくことでしょう。

7つの小学校の統合で、新たな歴史がスタートします。今まで別々の道を歩んできた小学校が、思いを一つに結集し、これからは統合小学校として輝ける未来へと歩みを進めていきます。

これまで、それぞれの地域に密着してきた小学校ですが、今までのような形で地域と関わっていくことが難しくなることもあります。しかし、子どもたちの健やかな成長のためには、地域の力が不可欠です。今後も地域全体で子どもたちを見守り、そして新たな小学校を支えていきましょう。子どもたちの明るい未来に期待を込めて――。

明治6年開校の六日入尋常小学校と上麻生尋常小学校が統合し、明治42年に白山尋常小学校となりました。

白山地区は北上川沿いに位置し、縄文時代から川の近くに人が住んでいました。水運の便利な地域のため、昔から交通の要衝でした。江戸時代には伊達藩の御蔵場として、周辺地域の米を仙台方面へ舟で出荷。戦後、カスリン台風、アイオン台風の被害を受けますが、同地区は水害に遭うたびに川との付き合い方を学び、北上川がもたらした恵みと共に歩んできたのです。

北上川を学びの題材としてきた白山小学校。水中生物の調査などから、自然との共生や北上河畔の歴史と文化を学んできました。



所在地：前沢区白山字古宿 40
児童数：68 人

白山小学校



大曲の水辺に夢をつくる会 事務局長

千葉幹夫 さん(78)

私たちの組織は、平成13年の設立以来、白山小学校の児童と共に、北上川の水生生物調査や河川敷の花壇整備などを行ってきました。北上川は地域の財産です。自然から学ぶことはたくさんあるので、有効に活用していけたらと思いますね。

小学校が統合しても、外に出て楽しみながら学習する機会をたくさん設けてほしいと願っています。

母体地区では、地区内の全戸がPTAの準会員になっており、小学校行事への協力体制も構築されています。地域の皆さんが小学校に来てくれるのは、とてもありがたうれしいことですね。

母体小学校の子どもたちは、とにかく元気。冬は雪が積もった校庭でも元気に遊んでいます。これからも地域に支えられ、元気に礼儀正しく育ってくれたらと思います。



母体小学校PTA
千葉司 会長(45)

母体小学校

北上川の東側に位置する母体地区は、マエサワクジラの化石が発見されたところです。江戸時代には東磐井郡となったこともあり、政治的、文化的にもその影響を受けました。黒石方面と東山方面を結ぶ道が通り、東磐井からの荷物を北上川で舟に積んで送り出す交通の要衝。古くは、流通の拠点として栄えた地域です。

母体小学校は、明治6年に開校。明治42年、赤生津尋常小学校と統合して生母尋常小学校となりますが、昭和35年にそれぞれ別の小学校となりました。



所在地：前沢区生母字北羽毛 33
児童数：37 人

前沢区内小学校の主な出来事																																
昭和23年	成	白山小学校の中央2階建て校舎落成	27年	前沢小学校上野原分校開校	30年	前沢小学校上野原分校が独立して上野原小学校となる	33年	生母小学校母体分校の校舎落成	34年	生母小学校赤生津分校の校舎落成	35年	生母小学校を廃校し、母体小学校と赤生津小学校が開校	43年	白鳥小学校の新校舎落成	46年	白山小学校の新校舎落成	48年	前沢小学校と目呂木小学校が統合。目呂木小学校は前沢小学校目呂木分校となる	50年	前沢小学校目呂木分校を実質統合し、前沢小学校の新校舎落成	52年	古城小学校の新校舎落成	56年	上野原小学校の新校舎落成	平成6年	母体小学校の新校舎落成	10年	赤生津小学校の新校舎落成	18年	市町村合併により7校全てを奥州市立と改称	26年	7つの小学校を統合し、前沢区内で一つの小学校として新たなスタートを切る

※前項からの続き